

「NICT総合テストベッド」の利用手続と利用事例



概要

NICT総合テストベッドは、研究開発推進と社会実装加速のために利用いただけるICT分野の実証環境として、多くの機関に活用されています。総合テストベッド事務局は、利用の相談、手続きのご案内、事例紹介等を行っています。

利用手続

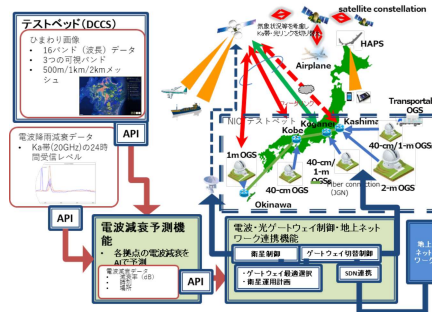


利用できる機関

- 研究開発を目的とした利用で、NICTと共同研究契約を締結できる機関
- NICTの委託研究受託者、助成事業者

利用事例

非地上系ネットワーク（NTN）において、気象の影響を軽減する為に、衛星からの画像データにより、通信回線の状態を把握・予測し、サイトダイバーシティ技術により地上と衛星間の安定した通信を確立する。2024年度は、Ka帯電波減衰量とDCCSが提供するひまわり衛星データの全バンド（計16バンド）の相関分析・LightGBMモデルでの予測を実施した。今後は衛星光通信との関連性も検討し、今後打上げ予定の技術試験衛星9号機（ETS-9）の実証実験の中で、気象条件に応じて地上局を選択し、伝送速度を保持または向上させるサイトダイバーシティ技術に本成果を活用予定。



NICT宇宙通信システム研究室 衛星フレキシブルネットワーク基盤技術の構築

特徴

- 共同研究契約の電子契約サービスの活用や研究計画のウェブ入力により、利用申請をオンライン化
- 多様化する研究開発にあわせ、希望の実証環境を構築するための専門コンサルティング、各種支援を提供

ユースケース

- Beyond 5G時代の技術標準化に関連する、相互接続性検証の実証環境として活用
- デジタルコンテンツ配信制御システムの評価、音声翻訳機能を活用した自治体業務効率化のための研究開発、ロボット遠隔操作の検証等の実証環境として活用

今後の展開

- 利活用促進策の検討を行う関連フォーラム、利用者コミュニケーション等を通じて得られるニーズを吸い上げ、これらを反映した利活用環境の拡充
- より多くの研究者・開発者に利活用いただけるよう利活用事例やノウハウの整備、試用機会の提供

【お問合せ先】

オープンイノベーション推進本部 ソーシャルイノベーションユニット 総合テストベッド研究開発推進センター
Mail: tb-info@ml.nict.go.jp